

リハビリテーション科 初期研修プログラム

【研修責任者】 杉山 宏行

【一般目標】

脳血管障害、外傷性脳損傷、神経・筋疾患、末梢神経障害、切断、褥瘡、摂食・嚥下障害、呼吸・循環器疾患、老年疾患、内部障害、低栄養などに対するリハビリテーション（以下、リハ）が、急性期から開始され家庭復帰や社会復帰に至るまでの多職種との包括的チーム医療を実際に経験する。

【行動目標】

1. リハ医学の基本的概念の理解
2. リハ対象の基本的疾患の理解とリハ治療計画の理解
上記一般目標に標記した疾患群に対するリハとADL、歩行獲得、家庭復帰、社会復帰など治療計画の理解。特に急性期リハや各対象疾患のリハ上のリスク管理の理解
3. リハ医学の基本的診察法の習得
4. リハ医学の基本的検査法や基本的手技の理解と習得
5. リハ医学の基本的評価の習得
関節可動域の測定、徒手筋力テスト（MMT）、神経学的評価、日常生活動作評価（FIM、BI など）歩行評価、QOL（生活の質）、IADL（生活関連動作）評価、高次能機能障害評価（失語症、失行、失認など）。
6. リハ医学の基本的治療の理解と習得
理学療法、作業療法、言語聴覚療法の理解と処方。摂食・嚥下治療の理解と処方、義肢装具療法（長短下肢装具、義足、義手、車いす）の理解と経験。各社会福祉制度の理解と利用。リハ看護の見学と理解。身体障害者認定、労災補償診断書の作成経験など。

【研修内容】

1. 外来診療
問診、診察、検査、評価、リハ処方、インフォームドコンセント、診療録記載を行う。
2. 入院診療
主治医と共に担当医として患者を受け持つ。
問診、診察、検査、評価、リハ処方、インフォームドコンセント、処置、カンファレンス、診療録記載を行う。
3. 他診療科とのカンファレンス
4. 勤労者医療
復職カンファレンス、職場訪問、産業医活動、職場巡視に参加する。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	心臓血管外科 回診 外来診療	義肢装具診 外来診療	心臓血管外科 回診 外来診療	外来診療	脳神経外科回 診 外来診療
午後	病棟診療	整形外科回診 呼吸器科カン ファレンス	病棟診療 第3週：勤労者 医療	病棟診療 神経内科カン ファレンス	病棟診療 車いす診 嚥下造影

【研修評価】

研修終了時に、部長及びスタッフが研修医の評価を行う。